

## 通常流通用抗インフルエンザウイルス薬の供給状況(10月分)について

### 1. 2009年9月-2010年3月の供給計画

タミフル 約1,200万人分 (昨シーズン供給量の約2.8倍) <中外製薬より>  
 リレンザ 約1,270万人分 (昨シーズン供給量の約6.7倍) <グラクソ・スミスクラインより>

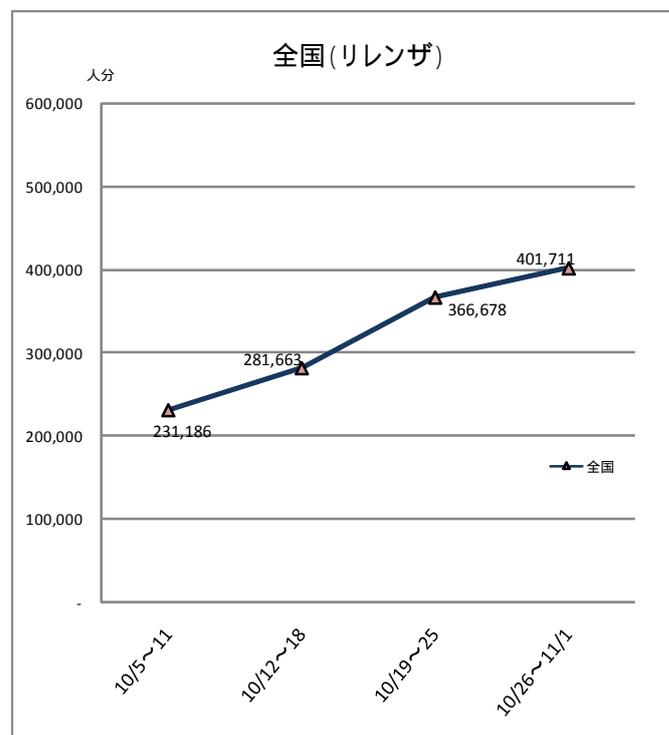
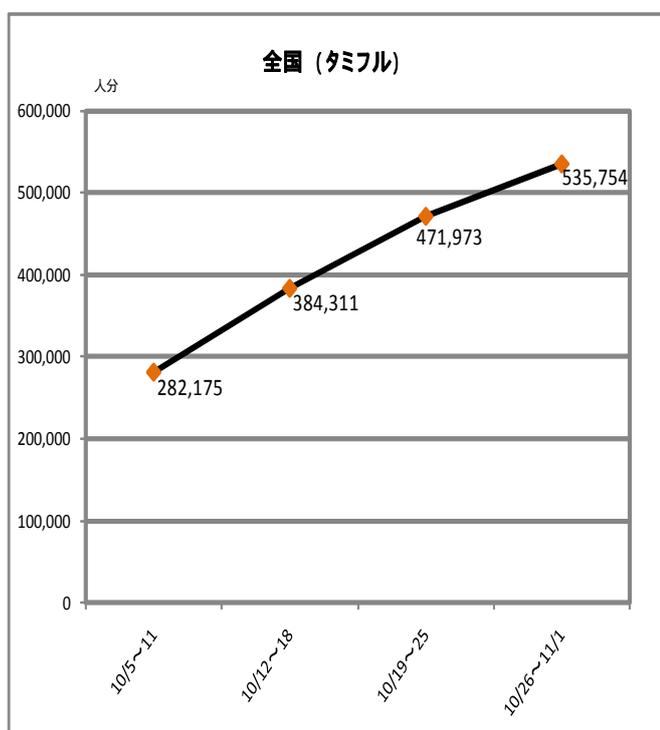
- \* 各メーカーは、9月から供給を開始している。(2. ②参照)
- \* 製造販売業者は、感染拡大の状況を踏まえ、追加供給の検討を進めている。

### 2. 供給状況 ～ 11/6集計分 ～

#### ① 卸売業者から医療機関への供給量 (10月5日～11月1日)

タミフル 約167万人分

リレンザ 約128万人分



#### ② メーカー・卸の在庫量 (10月31日時点)

タミフル 約608万人分

リレンザ 約128万人分

- \* メーカー・卸在庫には、各メーカーの9月以降の出荷数を含む。

(参考)

### 【行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）の備蓄量】

行政備蓄用抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）については、10月末までに約4,700万人分を確保。

#### ○ タミフル

国備蓄	約2,680万人分
県備蓄	約1,550万人分
計	約4,230万人分

#### ○ リレンザ

国備蓄	約268万人分
県備蓄	約253万人分
計	約521万人分

※ 国備蓄については、10月末時点の数。（9月末時点と同数）

※ 県備蓄については、10月末時点の数。（都道府県別の内訳は別添参照）

## 都道府県別の抗インフルエンザウイルス薬備蓄状況一覧 (H21.10 末時点)

No.	都道府県名	備蓄量 (千人分)	No.	都道府県名	備蓄量 (千人分)
1	北海道	675	25	滋賀県	194
2	青森県	181	26	京都府	308
3	岩手県	165	27	大阪府	1,075
4	宮城県	284	28	兵庫県	643
5	秋田県	136	29	奈良県	173
6	山形県	149	30	和歌山県	128
7	福島県	275	31	鳥取県	84
8	茨城県	357	32	島根県	103
9	栃木県	176	33	岡山県	272
10	群馬県	246	34	広島県	359
11	埼玉県	866	35	山口県	199
12	千葉県	517	36	徳島県	97
13	東京都	4,048	37	香川県	84
14	神奈川県	1,067	38	愛媛県	126
15	新潟県	291	39	高知県	100
16	富山県	133	40	福岡県	610
17	石川県	155	41	佐賀県	212
18	福井県	115	42	長崎県	241
19	山梨県	106	43	熊本県	234
20	長野県	278	44	大分県	155
21	岐阜県	254	45	宮崎県	155
22	静岡県	455	46	鹿児島県	206
23	愛知県	877	47	沖縄県	198
24	三重県	259		合計	約 18,037 千人分

【千人未満切捨てで計算】

注1) 各都道府県における抗インフルエンザウイルス薬の備蓄は、各都道府県と製造販売業者との契約に基づき、計画的に納入される予定である。

注2) 上記都道府県備蓄分の不足が見込まれる場合には、都道府県からの要請に基づき、国の備蓄分を放出することとしている。

(10月31日時点)

- \* 1 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄量については、タミフル（オセルタミビルリン酸塩）及びリレンザ（ザナミビル）の合計である。
- \* 2 抗インフルエンザウイルス薬の製造販売業者と各都道府県との契約に基づき、備蓄用として10月末までに納品した抗インフルエンザウイルス薬の数量を計上している。
- \* 3 県内に患者が発生した場合に備え、各都道府県が保健所等に配置換えをした抗インフルエンザウイルス薬の数量を含んでおり、数量は千人分単位で計上している。